

目次

1.はじめに	5
1.1. システム要件	6
1.2. パッケージ内容	7
1.3. 製品の外観	8
1.3.1. 正面図	8
1.3.2. 背面図	8
2.接続	9
2.1. ハード ディスクをオンにする	10
2.2. インタフェース ケーブルの接続	11
2.3. LaCie Setup Assistant の起動	12
2.4. LaCie rugged XL の取り外し	13
3.フォーマットとパーティション (オプション)	14
3.1. Windows をご使用の方	15
3.2. Mac をご使用の方	17
4.インタフェースとデータ転送について	18
4.1. USB 2.0 接続	18
4.2. FireWire 接続	18
4.3. eSATA 接続	19
4.4. データ転送	20
4.5. 新しいファームウェアのインストール	20
5.トラブルシューティング	21
5.1. マニュアルの更新	21
5.2. Mac のトラブルシューティング	22
5.3. Windows のトラブルシューティング	24
6.カスタマ サポートへのお問い合わせ	26
6.1. Lacie テクニカル サポートの連絡先	27
7.保証について	28

■ ご注意 ■

2010年1月より、日本市場でのLaCie商品販売はエレコム株式会社が行っております。LaCie製品は海外でも幅広く販売されており、LaCie社が管理・運営するグローバルサイト、Webリンク先の情報、商品、ソフトウェア、サービス等は、日本市場でお取り扱いの無い、またはサポート対象外のものも含まれます。あらかじめご了承ください。

著作権

Copyright © 2009 LaCie. All rights reserved. 電子、機械、コピー、記録など、様式や手段の如何を問わず、本書のいかなる部分も当社の書面による事前の承諾なしで複製、読み出しシステムでの保存、伝送を行うことを禁じます。

商標について

Apple、Mac および Macintosh は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。Microsoft、Windows 2000、Windows XP および Windows Vista は、Microsoft Corporation の登録商標です。本マニュアルに記載されているその他の商標は、関連各社に帰属します。

変更について

本マニュアルに記載されている情報は参考のみとして提供され、予告なく変更することがあります。本書の作成にあたっては正確さを期していますが、本書に掲載された情報の誤謬または省略に起因する、あるいは本書に記載する情報を利用した結果により生じる損害に対して、当社は一切の責任を負いません。当社は、無条件で製品の設計または製品マニュアルの変更や改訂を予告なく実施する権利を保留します。

カナダ適合規定

本クラス A デジタル機器は、カナダ干渉発生機器規定 (Canadian Interference-Causing Equipment Regulations) のすべての要件を満たしています。

FCC Statement



本デバイスは、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作は次の条件に基づきます。

- ◆ 本デバイスは有害な電波障害の原因となってはならない。
- ◆ 本デバイスは誤動作の原因となる妨害を含め、受信する妨害を許容しなければならない。

注記：本機器は、FCC 規則 Part 15 に定められた クラス B デジタル装置に関する規制要件の試験に合格し、同規則に準拠することが証明されています。これらの規定要件は、住宅に設置する際、有害な干渉から適切に保護するために定められています。本機器は、無線周波数帯域のエネルギーを発生、使用し、これを放射する場合があります。また、本取扱説明書の指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉をもたらす場合があります。ただし、特定の設置方法において干渉が発生しないという保証はありません。本機器がラジオ、テレビの受信に有害な干渉をもたらす場合（これは本機器の電源のオン/オフにすることにより判断できます）、次の方法により干渉の解決を試行することをお勧めします。

- ◆ 受信アンテナの向き、または位置を変える。
- ◆ 本機器と受信機の距離を離す。
- ◆ 受信機が接続されているものとは異なる別系統のコンセントに、本機器を接続する。
- ◆ 販売代理店または経験を積んだラジオ/テレビ技術者に相談する。

LaCie の承認を受けずに本機器に変更または修正を加えると、FCC およびカナダ適合規定に違反し、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

注意：メーカーの承認を受けずに本機器に修正を加えた場合、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

CE 認証に関するメーカーの宣言

当社は、本製品が以下の欧州規格に準拠していることを明言します。Class B EN60950、EN55022、EN55024

下記条件に関して：73/23/EEC 低電圧指令、89/336/EEC EMC指令



本製品または梱包箱に示されたこの記号は、本製品を他の家庭廃棄物と一緒に廃棄してはならないことを意味します。電気・電子製品廃棄物のリサイクルを行う所定回収場所に該当機器を持ち込んで処分するのは、ユーザーの責任です。他のゴミと分別して、機器廃棄物の回収や再利用を行うことで、自然資源の保護に役立ち、人々の健康や環境を保護するような形でリサイクルできるようになります。使用済み機器をリサイクルする際の回収場所に関する詳細は、地方自治体の家庭廃棄物担当部署または本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

安全衛生上の要件

- ◆ 本デバイスの保守作業は、有資格者のみが行えます。
 - ◆ デバイスの設定にあたっては、本ユーザー マニュアルを十分に読み、正しい手順に従ってください。
 - ◆ デバイスを開けたり、分解、改造は行わないでください。感電、火災、ショート、有害な放出などの危険を避けるために、デバイスに金属物を挿入しないでください。デバイスには、お客様ご自身で修理可能な部品は一切含まれていません。故障が起きたと思われる場合は、資格を有する LaCie テクニカル サポート 担当者に点検をご依頼ください。
 - ◆ デバイスを雨に晒したり、水の近く、または湿気の多い場所、濡れた状態で使用しないでください。
- さい。デバイスの上には、中に液体の入ったものを置かないでください。こぼした場合に、開口部分から液体が中に入る恐れがあります。これにより、感電、ショート、火災、けがなどの危険性が高まります。

一般的な使用上の注意

- ◆ 当商品は、温度 5°C ~ 35°C、動作湿度 5 ~ 80% (結露なし)、保管湿度 10 ~ 90% (結露なし) の範囲内で使用し、その範囲外の温度や湿度にはご利用しないでください。この温度範囲外で使用すると、デバイスが損傷したり、ケースが変形することがあります。また、デバイスを高温な熱源の近くに置いたり、直射日光 (窓越しの直射日光も同様) に当てないでください。逆に、極端に低温の場所または湿気の多い場所に置いても、デバイスが損傷する恐れがあります。また過熱の恐れがあるため、ハード ディスクを積み重ねないようにお勧めします。
- ◆ 落雷の恐れがある場合、または長時間使用しない場合は、必ずデバイスのプラグをコンセントから抜いてください。プラグを差し込んだままにすると、感電、ショート、火災の危険性が高まります。
- ◆ デバイスに同梱されている電源装置のみを使用してください。
- ◆ デバイスをテレビ、ラジオ、スピーカーなど他の電気器具の近くで使用しないでください。そのような器具の近くで使用すると干渉を起こし、他の製品の動作に悪影響を及ぼします。

- ◆ デバイスをコンピュータのディスプレイ、テレビ、スピーカーなど、磁気干渉を起こすものの近くに置かないでください。磁気干渉により、デバイスの動作や機能の安定性に影響が及ぶことがあります。
- ◆ デバイスの上に重いものを載せたり、過度の負荷をかけないでください。
- ◆ デバイスには、過剰な負荷をかけないでください。問題が生じた場合は、本書の「トラブルシューティング」を参照してください。

注意: FCC の定める電波規制に適合し、さらに周辺のラジオやテレビ受信に干渉を引き起こさないよう、必ずシールド タイプの電源コードを使用してください。必ず、付属の電源コードのみを使用してください。

重要な情報：本製品の使用中に生じたデータのいかなる損失、改悪、破壊は、お客様ご自身の責任であり、いかなる場合であっても当社はそのデータの回復または修復について責任を負いません。データの損失を避ける手段の 1 つとして、データのコピーを 2 部取ることをお勧めします。例えば、1 部を外付けハード ディスクに取り、もう 1 部を内部ハード ディスクや別の外付けハード ディスク、またはリムーバブルストレージメディアに取ります。LaCie では、CD、DVD ドライブの豊富な製品ラインを提供しています。バックアップについて詳しくは、当社の Web サイトをご覧ください。

重要な情報：1GB は 10億 (1,000,000,000) バイトです。1TB は、1000 GB です。フォーマット後に実際に利用可能なストレージ容量は、動作環境によって異なります (通常 5 ~ 10% 減)。

1. はじめに

年以上に渡る卓越したデザインの経験を基に、LaCie では、機能をハイテクと融合するタイムレスな新しいラインのハード ディスクを作り上げました。この最新のハード ディスクは、特定アプリケーションを通じてお客様を強力にサポートする、パフォーマンス ベースのソリューションです。

LaCie rugged XL は、スピード重視のアプリケーションに理想的で、高まるデータのニーズにも十分応えます。安全性と安定性を兼ね備えた本製品は、コンピュータに空き領域を追加するのに最適です。ディスクを分割してデータの異なる部分に特定の領域 (パーティション) を割り当てることも、そのまま分割せずに 1 つの大きなボリュームとして使用することも可能です。

クイック リンク

トピックをクリックします:

- ◆ 接続
- ◆ フォーマットとパーティション (オプション)
- ◆ トラブルシューティング



1.1. システム要件



Windows をご使用の方

- ◆ Windows 2000、Windows XP、Windows Vista
- ◆ 512 MHz プロセッサ以上
- ◆ 128MB の RAM (512MB を推奨)
- ◆ USB 2.0、FireWire 400、FireWire 800 または eSATA* ポートを 使用可能



Mac をご使用の方

- ◆ Mac OS X 10.2.8 (eSATA の場合は、Mac OS X 10.3) 以降
- ◆ G4、G5、Intel Core Duo、または Intel Core 2 Duo
- ◆ 128MB の RAM (512MB を推奨)
- ◆ USB 2.0、FireWire 400、FireWire 800 または eSATA* ポートを 使用可能

技術面での注意：USB 2.0 の転送速度を得るには、ハードディスクを USB 2.0 のホスト ポートに接続する必要があります。USB 2.0 ポートに接続すると、ハード ディスクは USB 2.0 の速度で動作します。

* ほとんどのコンピュータでは、工場出荷時に eSATA または FireWire 800 ポートが装着されていません。そのため、これらのインタフェースで LaCie Hard Disk を接続するには、PCI、PCI-X、または PCI-Express カードが必要な場合があります。LaCie では、多様な eSATA または FireWire 800 カードを提供しています。をご覧ください：
www.lacie.com/accessories。

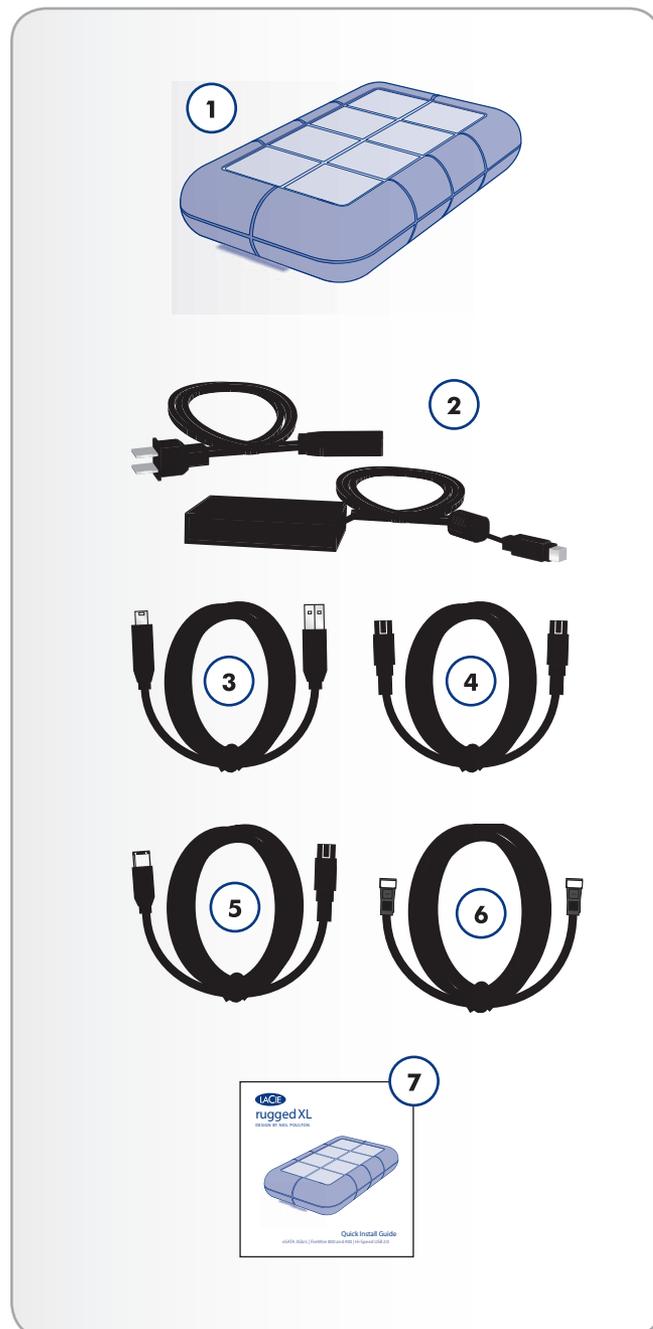
1.2. パッケージ内容

LaCie rugged XL パッケージには、ディスクと以下の品目を含むアクセサリ ボックスが含まれています。

1. LaCie rugged XL, Design by Neil Poulton
2. 外部電源装置
3. USB 2.0
4. FireWire 800 (9-9 ピン) ケーブル
5. FireWire 400 から 800 (6-9 ピン) のアダプタ ケーブル
6. eSATA ケーブル
7. クイック インストール ガイド

LaCie ユーティリティおよびユーザー マニュアルはディスクに収録されており、LaCie Setup Assistance をインストールすると表示されます。詳しくは、「[2.3. LaCie Setup Assistant の起動](#)」を参照してください。

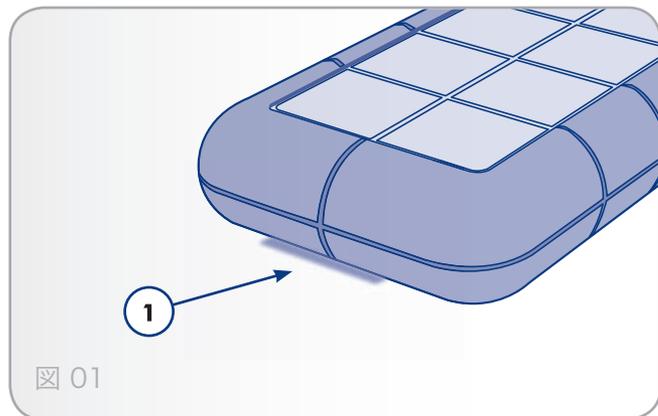
重要な情報：購入時の梱包材は保管しておいてください。製品の修理または点検が必要になった場合、必ず製品の包装箱に梱包してご返送ください。



1.3. 製品の外観

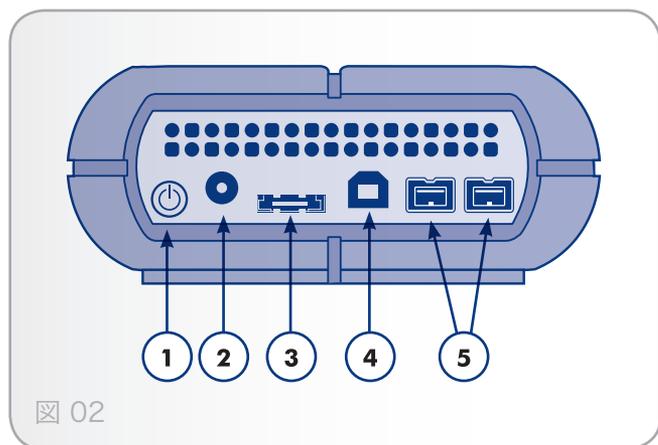
1.3.1. 正面図

1. 青色の LED ランプは、ハード ディスクの状態を表わします (青 = 通常、赤 = ディスク障害、点滅 = ディスク動作中)



1.3.2. 背面図

1. オフ/オン電源スイッチ
2. 電源装置の接続
3. eSATA ポート
4. USB 2.0 ポート
5. FireWire 800 港



注意： 過熱を防ぐため、LaCie rugged XL を換気のよい場所に設置し、コントローラ チップ周辺に十分な気流を確保するようにしてください。また、換気ファンの動作が阻害されないようにしてください。

環境要件：

温度：5 – 35° C (41 – 95° F)

Operation Humidity: 5 – 80%, non-condensing

Storage Humidity: 10 ~ 90%、結露なし

2. 接続

重要な情報 : LaCie rugged XL のボリュームがお使いのコンピュータで正しくマウントされるように、設定手順に従ってください。

ステップ 1 — [2.1. ハード ディスクをオンにする](#)

ステップ 2 — [2.2. インタフェース ケーブルの接続](#)

ステップ 3 — [2.3. LaCie Setup Assistant の起動](#)

2.1. ハード ディスクをオンにする

重要な情報： インタフェース ケーブルを接続する前に電源を接続し、ボリュームが正しくコンピュータにマウントされるようにします。

1. 電源の電源ジャックを LaCie ハード ディスクの電源コネクタに接続します (図 03)。
2. アースを取ったコンセントに電源を差し込みます。
3. 背面にある電源ボタンを押して、ハード ディスクの電源を入れます。を参照してください。
4. ここで次のステップ、「2.2. インタフェース ケーブルの接続」に進みます。

注意： 本製品付属の専用 AC アダプタのみを使用してください。他の LaCie 製品の電源装置や他のメーカーの電源装置は、使用しないでください。他の電力ケーブルや電源装置を使用すると、デバイスを損傷し、保証の対象外となる場合があります。本製品を移動するときは、必ず AC アダプタを取り外してください。アダプタを取り外さずに移動すると、製品が損傷し、保証の対象外となる場合があります。

技術面での注意： LaCie rugged XL は 100V ~ 240V の間で自動的に電源の切り替えを行うため、海外でもご使用いただけます。海外でご使用になる場合は、適切なアダプタまたはコードをご用意ください。不適切なアダプタの使用によりデバイスに損傷が生じた場合、当社では責任を負いかねます。当社認定品以外のアダプタをご使用になると、保証対象外となります。

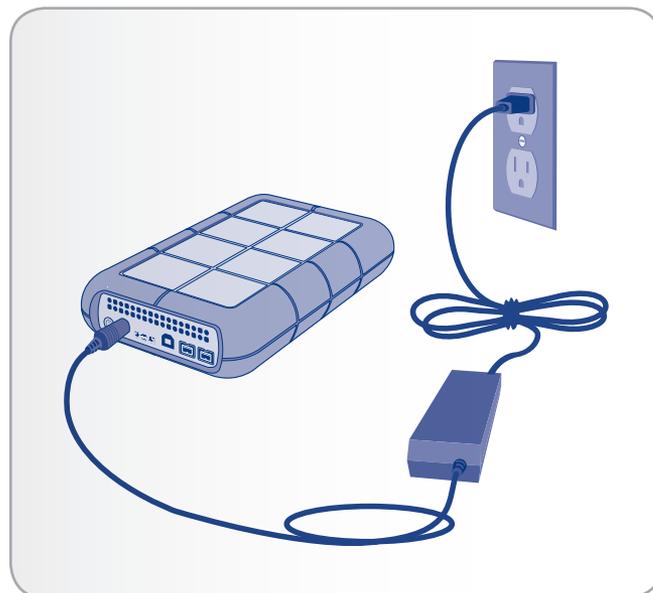


図 03

2.2. インタフェース ケーブルの接続

1. インタフェース ケーブル の小さい方の端をコンピュータの空き インタフェース ポートに取り付けます。
2. インタフェース ケーブルのもう一方の端を製品の背面にある インタフェース ポートに取り付けます (図 04)。
3. 数秒すると、ハード ディスクがコンピュータにマウントされ、[マイ コンピュータ] (Windows の場合) またはデスクトップ (Mac の場合) に表示されます。
4. 「2.3. LaCie Setup Assistant の起動」を参照してください。

技術面での注意： 2 つのインタフェースが同時に接続されている場合は、最初の接続が有効となり、2 番目に接続されたインタフェースは動作しません。

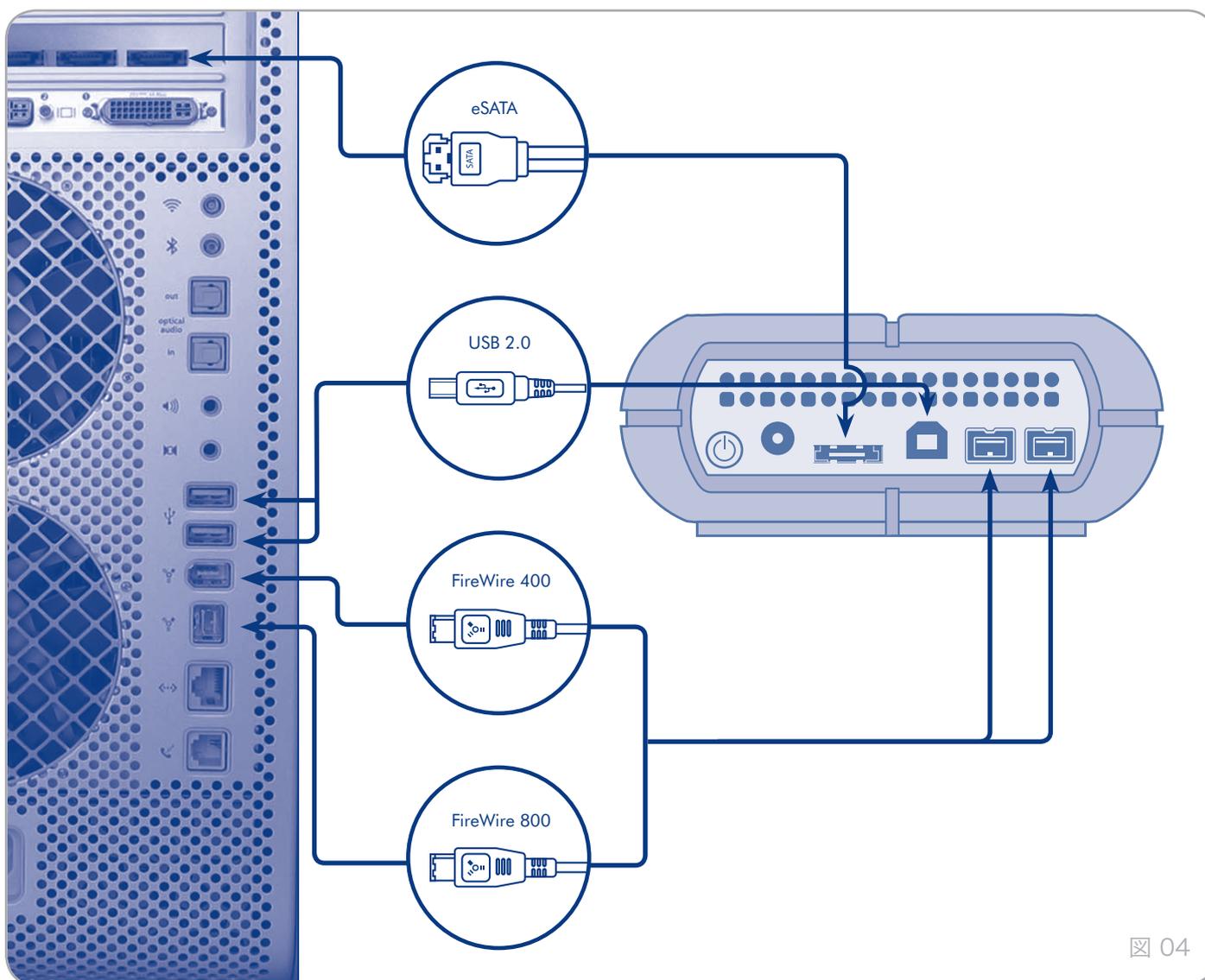


図 04

2.3. LaCie Setup Assistant の起動

ディスクを使用する前に、LaCie Setup Assistant ソフトウェアを起動してディスクをフォーマットする必要があります。

Setup Assistant は一度のみ実行してください。次のことが行われます：

- ◆ ニーズに従ってディスクを最適化
- ◆ マニュアルとユーティリティをディスクからコンピュータにコピー

重要な情報：ユーザー マニュアルおよびユーティリティをコンピュータの内部ハード ディスクまたはその他のメディアにコピーすることをお勧めします。

LaCie Setup Assistant を起動するには、次の手順に従います。

Windows をご使用の方： [マイ コンピュータ] フォルダにある LaCie ディスクのアイコンをダブルクリックした後、LaCie Setup Assistant アイコンをダブルクリックします。

Mac をご使用の方： デスクトップに表示される LaCie Setup Assistant アイコンをダブルクリックした後、LaCie Setup Assistant アイコンをダブルクリックします。

LaCie Setup Assistant では、ユーザーのニーズに合わせて LaCie rugged XL を最適化する手順をガイドします。

重要な情報：LaCie Setup Assistant を起動しない場合、またフォーマットが開始した後で LaCie Setup Assistant を終了した場合は、ハード ディスクの使用準備が整わないため手動でフォーマットする必要があります。ユーザー マニュアルやユーティリティもハード ディスクにコピーされませんので、次の LaCie Web サイトから自分でダウンロードする必要があります。www.lacie.com/jp

技術面での注意：LaCie Setup Assistant の使用により、コンピュータの標準ディスク ユーティリティ プログラムで LaCie ディスクのフォーマットやパーティションができなくなるわけではありません。Setup Assistant を完了させた後、コンピュータの標準ディスク ユーティリティ (Windows の場合はディスクの管理、Mac の場合はディスク ユーティリティ) を使ってハード ディスクを再フォーマットできます。詳しくは、「[3. フォーマットとパーティション \(オプション\)](#)」を参照してください。

2.4. LaCie rugged XL の取り外し

外付け USB、FireWire 400、そして eSATA デバイスには「プラグ アンド プレイ」の接続性が備わっているため、コンピュータの実行中にハード ディスクを接続したり、取り外すことができます。ただし、故障を防ぐため、ハード ディスクを取り外すときには次の手順に従ってください。



Windows をご使用の方

1. 画面右下にあるシステム トレイから、[ハードウェアの安全な取り外し] アイコン (ハードウェアの上に小さい緑色の矢印が描かれたイメージ) をクリックします。
2. このアイコンが管理するデバイスを一覧表示した「...を安全に取り外します」というメッセージが表示されます。このプロンプトで LaCie ハードディスクをクリックします。
3. ここで、「ハードウェアを安全に取り外すことができます」という (またはこれに類似した) メッセージが表示されます。以上で、ディスクを安全に取り外せます。



Mac をご使用の方

1. LaCie rugged XL ディスク アイコンをごみ箱にドラッグします。(以下の図は一般的な USB デバイス アイコンです。ディスクの形をしたアイコンで表される場合もあります。)
2. デスクトップからアイコンが消えたら、ディスクを取り外せます。



3. フォーマットとパーティション (オプション)

LaCie rugged XL を初めて使う場合は、LaCie Setup Assistant でニーズに合わせてフォーマットを行います。ニーズが変化した場合は、LaCie rugged XL を再フォーマットし、Windows、Mac、またはクロスプラットフォーム用に最適化できます。例えば、LaCie Setup Assistant を使用しハード ディスクを Mac 仕様にフォーマットした後で、Windows ユーザーと共有する必要が生じた場合、ハード ディスクをFAT 32 (MS-DOS) に再フォーマットできます。ディスクを再フォーマットするには、このセクションの指示に従います。

重要な情報：再フォーマットを行う前に、ユーザー マニュアルとユーティリティをコンピュータにコピーしてください。再フォーマットするとハード ディスクから全データが消去されます。保護するその他のデータ、あるいは継続して使用するその他のデータがある場合は、その情報をコンピュータにコピーした上で再フォーマットしてください。

フォーマットについて

ディスクをフォーマットすると、オペレーティング システムにより、ディスク上の管理情報の全消去、全セクタの信頼性を確認するためのディスクのテスト、不良セクタ（ひっかき傷などの物理的破損のあるセクタ）のマーク、後で情報の検索に使用する内部アドレス テーブルの作成が行われます。

パーティションについて

ハード ディスクをパーティションと呼ばれるセクションに分割することもできます。パーティションとは、ファイルやデータを保存するために作成される、ハード ディスクのストレージ容量のセクションです。例えば、ハード ディスク上に 3 つのパーティションを作成し、それぞれ、オフィス文書用、バックアップ用、マルチメディア ファイル用とすることができます。家庭やオフィスでハード ディスクを共有する場合は、ディスクを使用するユーザー毎にパーティションを作成できます。パーティションの作成はオプションです。

ファイル システム フォーマット

ファイル システムにはFAT 32、FAT 32 (MS-DOS)、Mac OS 拡張 (HFS+) の 3 つのカテゴリがあります。詳しくは、次の表を参照してください。

次の場合は NTFS を使用します。

ハード ディスクを Windows 2000、Windows XP、または Windows Vista でのみ使用する場合。一般に FAT 32 に比べ、高いパフォーマンスを得られます。このファイル システムは、Mac OS 10.3 以降では読み取り専用モードで対応しています。

次の場合は HFS+ を使用します。

ハード ディスクを Mac でのみ使用する場合。一般に FAT 32 に比べ、HFS+ のほうが優れたパフォーマンスを得られます。このファイル システムは、Windows OS に対応していません。

次の場合は FAT 32 (MS-DOS) を使用しません。

...ハード ディスクを Windows と Mac 10.3 の両方で使用する、または Windows 2000 と、Windows XP/Windows Vista 間でハード ディスクを共有する場合。単一のファイル サイズは最大 4GB です。

3.1. Windows をご使用の方

Windows 2000、Windows XP、Windows Vista を実行しているコンピュータでは、次の 2 つの手順に従います。(1) ハード ディスクにシグネチャをインストールし、(2) ディスクをフォーマットします。これらのステップにより、ハードディスク上にあるものすべてが消去されます。

注意：この手順に従うと、ハード ディスクから全データが消去されます。保護する情報や今後も使用する情報がある場合は、手順を実行する前にバックアップを取ってください。

1. インタフェース ポートを介して、ハード ディスクをコンピュータに接続します。
2. [マイ コンピュータ] を右クリックし、[管理] を選択します。
3. [コンピュータの管理] ウィンドウから [ディスクの管理] を選択します ([ディスクの管理] は、[記憶域] グループの下にあります)。図 05 を参照してください。
4. [ディスクの初期化と変換ウィザード] ウィンドウが表示されたら、[キャンセル]をクリックします。
5. システムにインストールされているハード ディスクが一覧表示されます。ⓧ アイコンで表わされたハード ディスクを探します。アイコンを右クリックし、[初期化]を選択します。
6. [未割り当て] と書かれた右側のボックスで、[新しいパーティション…]
7. [新しいパーティション ウィザード] の最初のページで、[次へ] をクリックします。図 06 を参照してください。

[次のページに続く](#)

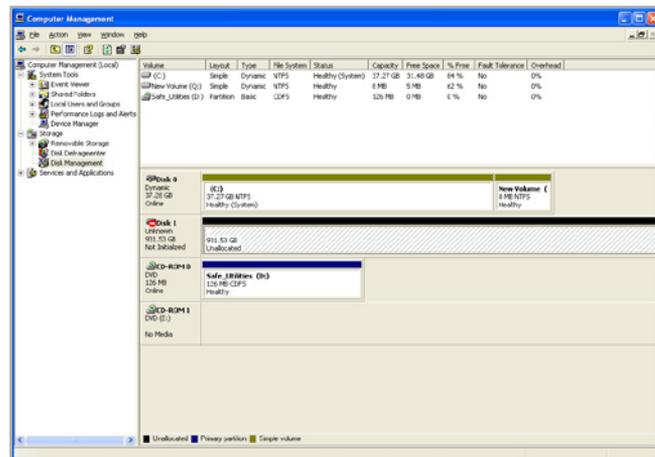


図 05

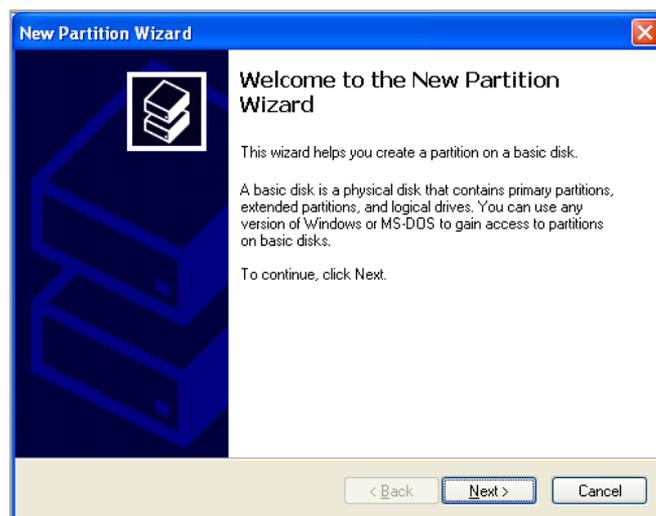


図 06

8. [次へ] をクリックします。
9. [次へ] をクリックします。
10. [次へ] をクリックします。
11. [次へ] をクリックします。
12. [パーティションのフォーマット] ウィンドウで、[クイック フォーマット] を選択します。[次へ] をクリックします (図 07)。

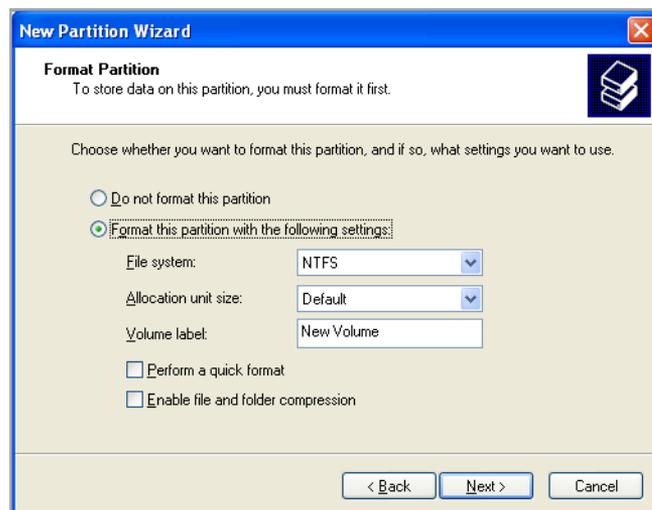


図 07

13. [完了] をクリックして、フォーマットを開始します。
14. Windows ディスク管理機能により、設定に従ってハード ディスクのフォーマットとパーティションが行われます (図 08)。ディスクが [マイ コンピュータ] に表示されると、使用準備が整います。

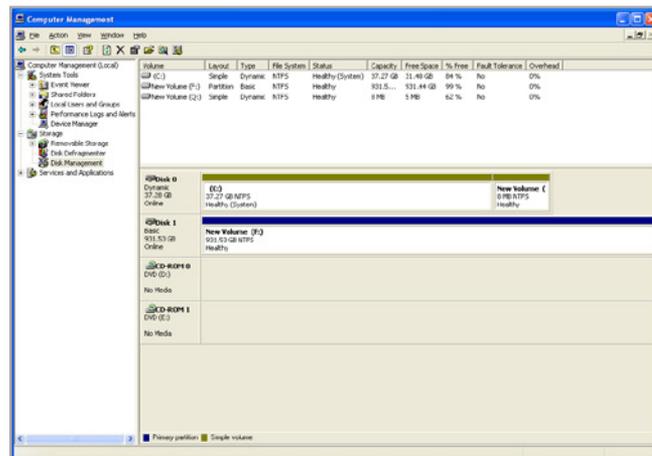


図 08

3.2. Mac をご使用の方

注意：この手順に従うと、ハード ディスクから全データが消去されます。保護する情報や今後も使用する情報がある場合は、手順を実行する前にバックアップを取ってください。

1. ハード ディスクをコンピュータに接続し、ハード ディスクをオンにします。
2. Finder メニュー バーの[移動] メニューから[ユーティリティ] を選択します。
3. [ユーティリティ] フォルダで、[ディスク ユティリティ] をダブル クリックします。
4. ディスク ユティリティ ウィンドウが開きます。ウィンドウの左側にある利用可能なハード ディスクのリストから [LaCie rugged XL] というラベルの付いたボリュームを選択します (図 09)。
5. [パーティション] タブをクリックします。
6. [ボリューム スキーム:]メニューでハード ディスクを分割するパーティションの数を選択します (Mac OS X では、最大 16 パーティションまで分割できるようになっています)。[ボリュームの方式:] 領域にあるパーティション間のスライド バーを使用すれば、パーティションのサイズをカスタマイズできます。
7. [ボリューム情報] のセクションで、各ボリューム (パーティション) の名前を入力し、ボリューム フォーマットを選択します。
8. ボリュームのオプション設定が完了したら、[パーティション] をクリックします。警告メッセージが継続して表示される場合は、再度 [パーティション] をクリックします。
9. 設定に従ってハード ディスクのフォーマットとパーティションが行われます。これでハード ディスクの使用準備が整いました。

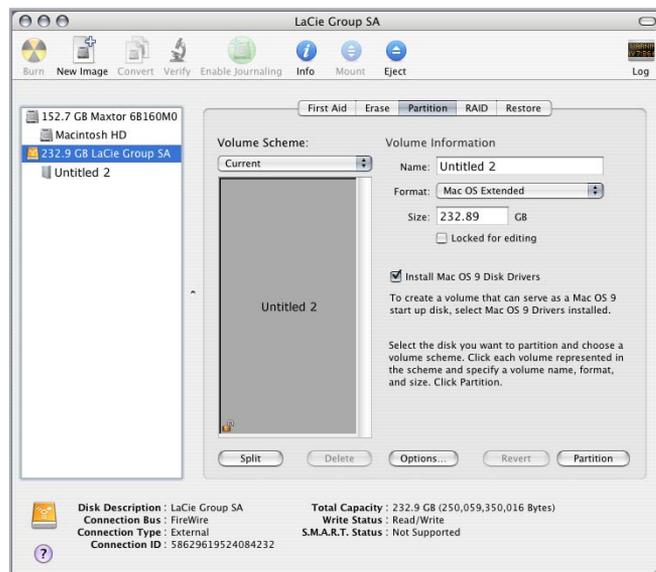


図 09

4. インタフェースとデータ転送について

4.1. USB 2.0 接続

USB は、周辺装置とコンピュータを相互に接続するためのシリアル入力/出力テクノロジーです。Hi-Speed USB 2.0 は、この規格の最新の実装であり、ハード ディスク、CD/DVD ドライブ、デジタル カメラなどの高速デバイスをサポートするために必要な帯域とデータ転送速度を提供します。

USB ケーブル

Hi-Speed USB ポートに接続したときに最大のデータ転送パフォーマンスを確保するため、本製品には Hi-Speed USB 2.0 ケーブルが付属しています (図 10)。ケーブルは、USB 1.1 ポートに接続しても機能しますが、デバイスのパフォーマンスは USB 1.1 の転送速度に制限されます。



図 10 - USB ケーブルの端

4.2. FireWire 接続

IEEE 1394 としても知られている FireWire 400 は、周辺機器とコンピュータを相互に接続するための高速シリアル入力/出力テクノロジーです。FireWire 800 は、新しい IEEE 1394b 規格を導入したものです。

FireWire 800 は、さらに高い帯域幅とデバイス間のケーブル接続距離拡張を提供します。FireWire 800 は、オーディオ、ビデオ、グラフィックなど、帯域重視のアプリケーションに最適です。

FireWire ケーブル

この LaCie ハード ディスクには、FireWire 800 (9-9 ピン) ケーブル (図 11) および、コンピュータの FireWire 400 ケーブルにディスクを接続できるようにする FireWire 400 から 800 (6-9 ピン) のアダプタ ケーブル (図 12) が付属しています。この場合は、ファイルの転送が FireWire 400 の速度に限られることをご了承ください。



図 11 - FireWire 800 ケーブルの両端子



図 12 - FireWire 400 - 800 ケーブルの両端子

4.3. eSATA 接続

LaCie Hard Disk は、最新 SATA テクノロジーを採用して最大 3G Bit/s の転送速度を実現します。SATA テクノロジーは当初、内部インタフェースとして開発され、コンピュータ内部の接続の性能を改善しました。その後すぐに、eSATA (SATA の外付け規格) が開発され、PC 外部でシールドケーブルを使えるようになりました。

eSATA テクノロジーは堅牢性と耐久性を高めるために開発され、eSATA コネクタには、その他の SATA コネクタで見られる L 字形のデザインはありません。加えて、ガイド機能は垂直オフセットとなっており、外付けアプリケーションで非シールドの内部ケーブルが使用できないように、サイズが縮小されています。

eSATA ケーブル

本製品には eSATA ケーブルが同梱されています (図 13)。



図 13 - eSATA ケーブルの両端子

4.4. データ転送

データ転送とは、タスクを完了するデータの流れて、通常ストレージからコンピュータの RAM へ、またはストレージデバイス間でのデータ移動に関するものです。データ転送中は、同じ USB 2.0 ポートを使用している他のアプリケーションを起動しないようお勧めします。OHCI (Open Host Controller Interface) 規格に準拠していない USB 2.0 コントローラを備えたコンピュータでは、異常が発生する恐れがあります。他のどのような構成においても、正常な動作を 100% 保証することはできません。

ハングアップが発生した場合は、次の手順に従います。

1. 電源が正しく接続されているかどうかを確認してください。
2. 電力の供給を確認し、アースの接続が正しく行われていることを確認します。
3. コンピュータの USB ケーブルを取り外します。30 秒待った後、再度接続します。

4.5. 新しいファームウェアのインストール

LaCie may periodically offer firmware updates for the rugged XL. Visit LaCie's Web site, www.lacie.com, for the latest firmware update.手順については、LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください。

技術面での注意：コントローラ - これは、コンピュータが特定の周辺機器と通信したり、周辺機器を管理したりできるようにするコンポーネントまたは電子カード (この場合、「コントローラ カード」) です。外付けコントローラとは、PC 内部の空きスロット (PCI または PCMCIA など) のいずれかに装着される拡張カードで、CD-R/RW ドライブ、スキャナまたはプリンタといった周辺機器をコンピュータに接続できるようにするものです。コンピュータに USB コントローラ カードがない場合は、LaCie より外付けコントローラをお買い求めください。詳細については、LaCie 販売代理店または LaCie テクニカル サポート (「[6. カスタマ サポート へのお問い合わせ](#)」を参照) にご連絡ください。

5. トラブルシューティング

LaCie rugged XL が正常に機能しない場合は、「[5.2. Mac のトラブルシューティング](#)」そして「[5.3. Windows のトラブルシューティング](#)」を参照し、問題の原因について調べてください。それでもディスクが正しく動作しない場合は、当社 Web サイトに頻繁に公開されている FAQ を参照してください。FAQ の中から質問の回答が見つかる場合があります。また、ドライバのページ もご覧ください。最新のソフトウェア アップデートを入手 できます。

さらに詳しいサポートが必要な場合は、LaCie 販売代理店または LaCie テクニカル サポート (「[6. カスタマ サポート へのお問い合わせ](#)」を参照) までご連絡ください。

5.1. マニュアルの更新

LaCie では、市場で最も新しく包括的なユーザー マニュアルをお届けできるよう常に心がけています。

新しいデバイスを迅速にインストールしてさまざまな機能を利用できるように役立つ、フレンドリーで使いやすいフォーマットをお客様に提供することが、当社の目標です。ご購入いただいた製品の構成がマニュアルに記載されていない場合は、当社 Web サイトをご覧ください、入手可能な最新のバージョンのマニュアルをご確認ください。

www.lacie.com/jp

5.2. Mac のトラブルシューティング

問題	質問	解決方法
コンピュータがデバイスを認識しない。	LaCie ハード ディスクのアイコンがコンピュータに表示されていますか。	LaCie ハード ディスクのアイコンがデスクトップに表示されているはずですが、ハード ディスクが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。
	お使いのコンピュータは、本製品を使用するための必要なシステム要件を満たしていますか。	詳しくは、「 1.1. システム要件 」を参照してください。
	ハード ディスクの電源が接続され、電源がオンになっていますか。	電源が正しく接続されていること (セクション「 2.1. ハード ディスクをオンにする 」を参照)、ドライブ背面のオン/オフ/オート ボタンを押してドライブの電源を入れたこと、電源を接続したコンセントがオンになっていることを確認してください。
	インターフェースと OS に適した手順でインストールを行いましたか。	「 2.2. インターフェース ケーブルの接続 」のインストール手順を再度確認してください。
	FireWire、eSATA または USB ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか。	FireWire、eSATA または USB ケーブルの両端を調べ、両端がそれぞれのポートに正しく取り付けられていることを確認してください。ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。それでも HDD が認識されない場合、コンピュータを再起動して、もう一度接続し直してください。
	USB、eSATA、または FireWire ドライバが正しくインストールされ、使用可能な状態になっていますか。	[システムプロファイラ (Apple システム プロフィール)] を開き、[デバイスとボリューム] タブをクリックします。デバイスがリストに表示されない場合は、ケーブルを再度チェックし、ここに記載されているその他のトラブルシューティングのヒントを試してみてください。
	その他のデバイス、ドライバまたは機能拡張とコンフリクト (競合) していませんか。	LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください。
コンピュータがデバイスを認識しない。	デバイスはフォーマットされていますか。	LaCie ハード ディスクが正しくフォーマットされているかどうかを確認してください。「 3. フォーマットとパーティション (オプション) 」
	お使いのコンピュータの OS で、ファイル システムがサポートされていますか。	詳しくは、コンピュータのマニュアルをチェックし、「 3. フォーマットとパーティション (オプション) 」

問題	質問	解決方法
Mac OS 10.x でエラー メッセージが表示される。	FAT 32 ボリュームへのコピー中、「Error -50」というメッセージが表示されましたか。	ファイルまたはフォルダを Mac OS 10.x から FAT 32 ボリュームにコピーすると、特定の文字はコピーされません。対応していない文字には次のようなものがありますが、これだけには限りません。<> \:ファイルとフォルダを調べ、このような文字が使われていないことを確認してください。
	スリープ モードからの復旧時に、デバイスが取り外されたことを伝えるエラー メッセージが表示されましたか。	このメッセージは無視してかまいません。デバイスがデスクトップに再マウントされます。LaCie ドライブは、コンピュータにスリープモードの設定を行ったときにスピンドアウンして電源を節約します。コンピュータがスリープから「立ち上がった」ときに、スリープ モードからスピンドアアップするために少し時間がかかる場合があります。
	FireWire デバイスの検出に問題がありますか。	Mac OS 10.2.x で FireWire の接続に問題がある場合は、最新バージョンの Mac OS にアップグレードしてください。
デバイスの動作が遅い。	その他の USB、eSATA または FireWire デバイスが、同じポートまたはハブに接続されていますか。	他の USB、eSATA または FireWire デバイスをすべて取り外し、ドライブのパフォーマンスが改善されるかどうかを確認してください。
Hi-Speed USB 2.0 を介して接続しても、デバイスの実行速度が速くならない。	ドライブがコンピュータの USB ポートに接続されていますか、それとも USB ハブに接続されていますか。	ハード ディスクがコンピュータの USB ポートまたは USB ハブに接続されている場合は、通常の状態です。Hi-Speed USB 2.0 デバイスは Hi-Speed USB 2.0 ポートまたはハブに接続されたときのみ、Hi-Speed USB 2.0 のパフォーマンス レベルで動作します。Hi-Speed USB 2.0 ポートまたはハブに接続されていない場合は、Hi-Speed USB 2.0 デバイスは遅い USB の転送速度で動作します。
	デバイスはコンピュータの Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続されていますか。	ホスト バス アダプタとデバイスの両方に Hi-Speed USB 2.0 ドライバが正しくインストールされているかどうかを確認してください。不確かな場合は、ドライバをアンインストールして、再度インストールしてください。
	ご使用のコンピュータと OS は、Hi-Speed USB 2.0 に対応していますか。	「2.1. ハード ディスクをオンにする」を参照してください。

5.3. Windows のトラブルシューティング

問題	質問	解決方法
コンピュータがデバイスを認識しない。	[マイ コンピュータ] にハード ディスクのアイコンが表示されていますか。	[マイ コンピュータ]を開き、LaCie ハード ディスクのアイコンと割り当てられているドライブ文字を探します。ハード ディスクが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。
	お使いのコンピュータは、本製品を使用するための必要なシステム要件を満たしていますか。	詳しくは、「 1.1. システム要件 」を参照してください。
	ハード ディスクの電源が接続され、電源がオンになっていますか。	電源が正しく接続されていること (セクション「 2.1. ハード ディスクをオンにする 」を参照)、ドライブ背面のオン/オフ/オート ボタンを押してドライブの電源を入れたこと、電源を接続したコンセントがオンになっていることを確認してください。
	インターフェースと OS に適した手順でインストールを行いましたか。	Review the installation steps in section 2.2. インターフェース ケーブルの接続 .
	FireWire、eSATA または USB ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか。	FireWire、eSATA または USB ケーブルの両端を調べ、両端がそれぞれのポートに正しく取り付けられていることを確認してください。ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。それでも HDD が認識されない場合、コンピュータを再起動して、もう一度接続し直してください。
	その他のデバイス ドライバまたは機能拡張とコンフリクト (競合) していませんか。	LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください。
Windows 2000 で FireWire 800 が動作しない。	Windows 2000 Service Pack 4 をインストール済みですか。	Windows 2000 で FireWire 800 デバイスを使用するには、Service Pack 4 アップデートを必ずインストールしてください。これは Microsoft の Web サイトで、無料でダウンロードできます。
デバイスの動作が遅い。	その他の USB、eSATA または FireWire デバイスが、同じポートまたはハブに接続されていますか。	他の USB、eSATA または FireWire デバイスをすべて取り外し、ドライブのパフォーマンスが改善されるかどうかを確認してください。

問題	質問	解決方法
Hi-Speed USB 2.0 を介して接続しても、デバイスの実行速度が速くならない。	ドライブがコンピュータの USB ポートに接続されていますか、それとも USB ハブに接続されていますか。	LaCie ハード ディスクをコンピュータの USB 1.1 ポートまたはハブに接続していると、速度は速くなりません。Hi-Speed USB 2.0 デバイスは Hi-Speed USB 2.0 ポートまたはハブに接続されたときのみ、Hi-Speed USB 2.0 のパフォーマンス レベルで動作します。したがって、Hi-Speed USB 2.0 デバイスは、USB 2.0 よりも遅い USB 1.1 の転送速度で動作します。
	デバイスはコンピュータの Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続されていますか。	ホスト バス アダプタとデバイスの両方に Hi-Speed USB 2.0 ドライバが正しくインストールされているかどうかを確認してください。不確かな場合は、ドライバをアンインストールして、再度インストールしてください。
	ご使用のコンピュータと OS は、Hi-Speed USB 2.0 に対応していますか。	「1.1. システム要件」を参照してください。
コンピュータの電源をオン/オフにすると同時に、ドライブの電源がオン/オフになります (USB および FireWire 接続の場合)。	これは正常です。ご使用のドライブには、自動切り換えの電源機能があります。そのため、ドライブをコンピュータに接続した場合、コンピュータを起動するとドライブが自動的にオンになります。同様に、コンピュータを停止するとドライブは自動的にオフになります。コンピュータに接続した状態でデバイスの電源をオフにする場合、まずコンピュータがデバイスにアクセスしていないことを確認し、次に「2.4. LaCie rugged XL の取り外し」のドライブを取り外したら、機器の正面にあるオン/オフ/オート ボタンを押して、ドライブをオフにします。	

6. カスタマ サポートへのお問い合わせ

2010年1月より、日本市場でのLaCie商品販売はエレコム株式会社が行っております。LaCie製品は海外でも幅広く販売されており、LaCie社が管理・運営するグローバルサイト、Webリンク先の情報、商品、ソフトウェア、サービス等は、日本市場でお取り扱いの無い、またはサポート対象外のものも含まれます。あらかじめご了承ください。

カスタマ サポートへお問い合わせいただく前に

このユーザー マニュアルをよくお読みになり、「トラブルシューティング」を再度ご確認ください。

問題点を明確にしてください。可能であれば、CPU 上の外付けデバイスを本製品のみにして、すべてのケーブルが正しくしっかりと取り付けられていることを確認してください。

「トラブルシューティング」のチェックリストにすべて目を通し、問題が該当しないかどうかを確認します。それでもデバイスが正常に動作しない場合は、次のページの連絡先を参照して LaCie までご連絡ください。次の情報をお手元にご用意の上、コンピュータにアクセスできる状態で、LaCie へお問い合わせください。

Information (情報)	確認箇所
LaCie ハード ディスクのシリアル番号	デバイス背面のシール、または納品時の梱包箱にあります。
LaCie ハード ディスクのファイル フォーマット	Mac をご使用の方：ハード ディスクの アイコンを選択して Command + I キーを押すか、または Control キーを押して [情報を見る] を選択します。 Windows をご使用の方：ハード ディスク アイコンを右クリックして、[プロパティ] を選択します。
Macintosh/PC の機種	Mac をご使用の方：メニュー バーの Apple アイコンをクリックし、[この Mac について] を選択します。 Windows をご使用の方：[マイ コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] > [全般] を選択します。
オペレーティング システムのバージョン番号	
プロセッサの速度	
コンピュータ メモリ	
コンピュータにインストールされている内蔵および外付け周辺機器のメーカー名とモデル名	Mac をご使用の方：[Finder] バーのアップル アイコンをクリックし、[この Mac について] を選択します。[詳細情報...] を選択します。Apple システム プロファイラが起動され、内蔵および外付け周辺機器がリストアップされます。 Windows をご使用の方：[マイ コンピュータ] を右クリックして、[プロパティ] > [ハードウェア] を選択します。

6.1. LaCie テクニカル サポートの連絡先

LaCie アジア、シンガポールおよび香港 連絡先： http://www.lacie.com/asia/contact/	LaCie オーストラリア 連絡先： http://www.lacie.com/au/contact/
LaCie ベルギー 連絡先： http://www.lacie.com/be/contact/ (フランス語)	LaCie カナダ 連絡先： http://www.lacie.com/caen/contact/ (英語)
LaCie デンマーク 連絡先： http://www.lacie.com/dk/contact	LaCie フィンランド 連絡先： http://www.lacie.com/fi/contact/
LaCie フランス 連絡先： http://www.lacie.com/fr/contact/	LaCie ドイツ 連絡先： http://www.lacie.com/de/contact/
LaCie イタリア 連絡先： http://www.lacie.com/it/contact/	LaCie 日本 連絡先： http://www.lacie.com/jp/contact/
LaCie オランダ 連絡先： http://www.lacie.com/nl/contact/	LaCie ノルウェー 連絡先： http://www.lacie.com/no/contact/
LaCie スペイン 連絡先： http://www.lacie.com/es/contact/	LaCie スウェーデン 連絡先： http://www.lacie.com/se/contact
LaCie スイス 連絡先： http://www.lacie.com/chfr/contact/ (フランス語)	LaCie 英国 連絡先： http://www.lacie.com/uk/contact/
LaCie アイルランド 連絡先： http://www.lacie.com/ie/contact/	LaCie アメリカ合衆国 連絡先： http://www.lacie.com/contact/
LaCie インターナショナル 連絡先： http://www.lacie.com/intl/contact/	

7. 保証について

2010年1月より、日本市場でのLaCie商品販売はエレコム株式会社が行っております。LaCie製品は海外でも幅広く販売されており、LaCie社が管理・運営するグローバルサイト、Webリンク先の情報、商品、ソフトウェア、サービス等は、日本市場でお取り扱いの無い、またはサポート対象外のものも含まれます。あらかじめご了承ください。

当社は、保証書に指定されている期間内において、正常なご使用のもとで生じたすべての製造上の欠陥に対して、本製品を保証いたします。保証期間内に本製品に欠陥が見つかった場合、当社の裁量で、欠陥品を修理または交換するものとします。次の場合は、保証が無効になります。

- ◆ 本製品を、標準外の使用環境または標準外の保守環境で使用または保管した場合
- ◆ 修理、改造、変更について当社の書面による明白な承認がないにもかかわらず、本製品を修理、改造、変更した場合
- ◆ 本製品を誤用・放置したり、落雷、電気関連の障害、荷造り不良、事故があった場合
- ◆ 本製品が不適切に設置された場合
- ◆ 本製品のシリアル番号を汚損または紛失した場合
- ◆ 破損部品が、ピックアップ トレイなど交換用パーツである場合
- ◆ 本製品のケーシングの不正開封防止シールが破られている場合

当社およびその納入業者は、本製品の使用中に起こったデータ損失、あるいは結果的に生じたいかなる問題についても責任を負いません。

当社は、いかなる場合においても、財産や設備の損傷または損失、利益または収益の損失、交換品にかかる支出、停電が原因で生じた支出または不都合など（これらに限定されない）、直接的、特別的または間接的の如何を問わず、損害については一切責任を負いません。

本製品の使用中に生じたデータのいかなる損失、改悪、破壊は、お客様ご自身の責任であり、いかなる場合であっても当社はそのデータの回復または修復について責任を負いません。

いかなる場合でも、製品に支払われた購入価格を上回る金額を請求することはできません。

保証サービスを受ける場合は、LaCie テクニカル サポートまでご連絡ください。LaCie 製品のシリアル番号をご用意ください。また、本製品が保証期間内であることを確認するために購入を証明するものをご提示いただくことがあります。

当社に製品を返品される場合は、購入時にその製品が入っていた箱にしっかりと梱包し、送料前払いでお送りください。

重要な情報： 無償のテクニカル サポートをご利用になるには、次の Web サイトでオンライン登録を行ってください。www.lacie.com/register
